

# JA遠州夢咲 平成29年度上半期 経営状況のご案内

## 1 JAの地域貢献

JA遠州夢咲は、菊川市、掛川市の大東地区・大須賀地区及び御前崎市の浜岡地区を事業区域として、農業者を中心に地域の皆様が組合員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営される協同組織であり、農業・地域の活性化に資する地域金融機関です。

皆様からお預かりした貯金等は、農業や事業等その用途によって資金を必要とする組合員や地域の皆様などにご融資することで、暮らしのお手伝いをしております。

「<sup>かがや</sup>輝く・笑顔が輝くのうきょう <sup>はぐく</sup>育む・心を育むのうきょう <sup>ひら</sup>拓く・夢を拓くのうきょう  
こんな農協をめざします」を経営理念として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向け、金融ばかりでなく総合的に事業活動をしています。

また、農業や助け合い活動を通じて、次のように地域社会・文化への貢献に努めております。

### ◇年金受給者友の会の催事

当JAの年金受給者友の会を通じ、地域の方に健康増進や交流を深めていただくため「グラウンドゴルフ大会」「ゴルフ大会」「優待旅行」といった催事を開催しています。

### ◇地域振興資金

地域発展のため、公民館等の公共施設の建設、神社仏閣等の建設に対して長期で低利な資金をご用意しています。

### ◇中小企業等の経営改善及び地域活性化のための取組の状況

金融円滑化法の適用期限終了後も農業経営の改善及び地域活性化のため、組合員の相談を真摯に受け止め、柔軟に対応しています。

### ◇書道・交通安全ポスターコンクールの開催

助け合いと思いやりの気持ちを小・中学生の皆さんに伝えていくこと、そして交通安全への関心を高め、書道、美術といった芸術を学ぶことは、児童、生徒の皆さんにとって「創造性」を養うことに役立つものと考えます。その意味でもこのコンクールの意義は大きいと感じています。また、地域住民に対する交通安全啓蒙を兼ねた地域の文化施設として、交通安全標語入りソーシャルクロックを設置し、JA共済の広告塔として活用されています。

### ◇子供達の農業体験

地域の皆さんと連携し、子供たちの田植え・稲刈り体験・野菜の収穫体験、小学校の学年毎に作物栽培実習等に取り組んでいます。子供たちに農作業を体験してもらうことで少しでも農業の大変さ大切さを感じて、その中で感動と喜びを与えています。

### ◇3市農業再生協議会 経営所得安定対策推進部会

地域水田農業ビジョンに基づき、地域における需要に応じた米の生産の推進を図るとともに、経営所得安定対策に則った水田を中心とした作物の産地づくりの推進と遊休農地の解消を図り、農業経営の安定と農地の多目的機能の活用を目指しています。

### ◇茶文化の継承と産地PR

茶文化の継承と消費宣伝のため、高天神新茶まつりや各地での展示会、イベントで手揉み実演や呈茶サービス、一煎パックの配布を行い遠州夢茶のPRを行っています。また、管内の小中学校や幼・保育園、中学校、高校、施設等を対象に「お茶の淹れ方教室」の開催や新茶の贈呈を行い手摘み・手揉み体験、荒茶工場やサエリア仕上工場見学を通じてお茶の生産工程やお茶の効能、歴史について紹介する事で、地域の特産品であるお茶への関心を高め、遠州夢茶ファンの拡大に努めています。

#### ◇廃プラスチックの適正処理で環境保全

環境問題に対する国民の関心が高まるなかで、農業生産においても、環境との調和について適切な対応をとり、国民の信頼を得ておくことが必要です。

J Aでは本年も農家から出される使用済みの「農ビ・農ポリ・農薬空ポリビン・肥料空袋」等を回収・適正処理し、農家の皆様の廃棄作業の支援そして環境保全に努めています。

#### ◇高齢者福祉事業の経営理念

J A遠州夢咲高齢者福祉事業は、J Aの理念『地域・組合員の営農と生活を守り、地域に貢献する』に基づき、今日の繁栄の基を築いていただいた高齢者への支援事業として実施しています。具体的にはデイサービス夢咲とデイサービス大城の2か所で通所介護を行い、居宅介護支援事業所においてはケアマネージャーによりケアプランの作成や介護相談を行っています。

#### ◇ゆうあいサロン開催 夢咲女性部

助け合い活動の促進として地域の77歳以上の方を対象にゆうあいサロンを開催し、手作り弁当やゲーム、健康相談で楽しいひと時を過ごしています。

#### ◇福祉葬儀等の対応

市の要請を受けて生活保護受給者や身寄りのない方の葬儀対応を行う「福祉葬儀」や、菊川市戦没者慰霊祭へ祭壇の貸出等を通じて地域貢献に取り組んでいます。

#### ◇1支店1協同活動の実施

「支店を拠点とする取組を通じてJ Aらしさの理解を深め、地域のなかにJ Aファンを増やす」という考えを軸として、身近な存在としてのJ Aをアピールする活動に取り組んでいます。

#### ◇交通安全街頭キャンペーンの実施

J A遠州夢咲管内組合員・地域住民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、組合員・地域住民に対し道路交通環境の改善に向けた推進、またJ A遠州夢咲管内の交通事故防止徹底を図ることを目的として、交通安全街頭キャンペーン（夏・秋・年末の交通安全運動期間中）を4地区にブロックを設け実施しています。交通安全のぼり旗、横断幕、たすきを役職員自らが掲げ、広く組合員・地域住民に交通ルールの遵守と交通マナーの啓発に取り組んでいます。

## 2 金融再生法開示債権(単体)

当JAの金融再生法の開示区分に基づく債権額は次のとおりです。  
今後も厳格な自己査定を実施し、資産の健全化に努めていきます。

(単位：百万円)

債 権 区 分	平成29年8月末	平成29年2月末	増 減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	191	239	▲ 47
危険債権	180	38	142
要管理債権	—	—	—
合 計	372	278	94

注：1. 平成29年8月末の計数は、平成29年7月末を基準日として行った自己査定結果（債務者区分及び債権額）を基準としています。

2. 各債権の定義は次のとおりです。

- ① 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。信用事業に係る総与信（貸出金、信用未収利息、信用仮払金、債務保証見返、貸付有価証券、外国為替（以下、同様））のうち、自己査定で破綻先及び実質破綻先に区分されたものが該当します。
- ② 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性が高い債権です。信用事業に係る総与信のうち、自己査定で破綻懸念先に区分されたものが該当します。
- ③ 「要管理債権」とは、3月以上延滞債権（元金又は利息の支払いが、約定支払日の翌日を起算日として3月以上延滞している貸出債権）及び貸出条件緩和債権（経済的困難に陥った債務者の再建又は支援を図り、当該債権の回収を促進すること等を目的に、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定等を行った貸出債権）です。

## 3 単体自己資本比率

当JAの自己資本比率は平成29年8月末16.36%程度と国内基準4%を大幅に上回る水準を維持しています。

平成29年8月末(見込み)	平成29年2月末
16.36%程度	17.07%

注：1. 自己資本比率とは、貸出金等の総資産に占める自己資本の割合を示すもので、経営の安全性、健全性等を表す代表的な指標です。国内のみで営業を行う金融機関には4%以上が求められています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額（出資金や利益準備金、積立金、剰余金などの合計額）} \times 100}{\text{リスク・アセット（当JAの所有する預金や貸出金、有価証券その他の資産にそれぞれ定められた一定のリスク・ウェイトを掛けて計算した総額）} + \text{オペレーショナルリスク相当額}}$$

2. 平成29年8月末の自己資本比率の算出にあたり、仮決算の当期剰余金は法人税等見込み額控除前の数値を使用しています。信用リスク・アセットの一部は、平成29年7月末を基準として行った資産自己査定結果に基づいて計算しています。また、オペレーショナル・リスク相当額は、直近決算における数値を使用しています。

#### 4 主要勘定の状況

(単位：百万円)

	平成29年8月末	平成29年2月末	平成28年8月末
貯 金	229,393	227,576	224,945
貸 出 金	43,872	44,281	45,888
預 金	170,177	168,066	163,978
有 価 証 券	18,577	19,427	17,924

注：平成29年8月末および平成28年8月末の残高は帳簿価格を、平成29年2月末の残高は貸借対照表計上額を表示しています。

#### 5 有価証券等の時価情報

(単位：百万円)

	平成29年8月末			平成29年2月末		
	取得原価	時 価	評価差額	取得原価	時 価	評価差額
その他有価証券	26,022	27,197	1,175	25,727	26,872	1,145
債 券	18,577	19,753	1,175	18,282	19,427	1,145
そ の 他	7,444	7,444	—	7,444	7,444	—

注：1. 満期保有目的の債券、その他有価証券で時価のあるものを表示しています。

2. その他有価証券には外部出資を含めて表示しています。

3. 平成29年8月末の含み損益・評価差額は、平成29年8月末時点の帳簿価格・取得原価と時価との差額を表示しております。

4. 子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。